

教科	種目	R6～採択	採択理由
国語	国語	光村図書	主体的に学習ができるように、言葉を声に出したくなるような絵物語や対話を重視した活動といった教材が入っている。身につけた力を次の学習でいかしていけるようにつながりを意識した単元・教材配列になっている。子どもたちの「問い」を大事にした学習展開を大事にされていると共に、教科横断的に学習できるように他教科や日常生活にかす内容になっている。
	書写	光村図書	課題ごとに正しく整えて書くための大切なポイントが的確に示されており、学習目標を理解しやすい。硬筆の学習で身につけたことを、毛筆の学習で生かせるように練習を進めるための構成が工夫されている。児童の日常生活と関連した硬筆学習の課題が設定されており、必要性を持って取り組みやすい。
社会	社会	東京書籍	「つかむ」「調べる」「まとめる」「広げる」といった学習の進め方を示すことにより、児童が主体的に学びを進められるように工夫しており、さらに学習内容に応じて今日的な課題が積極的に取り上げられているので、社会に対する理解を深められるように配慮した教科書になっている。
	地図	帝国書院	特徴として、鳥瞰図やイラストを用いた地図などが随所であり、児童の興味・関心を高める工夫がされている。そして、統計の資料も数多く掲載されており、児童にとって調べ学習をする上で参考にもなる。さらに発展的な課題や今日的な課題も掲載されており、それらの課題と地形との関係などがわかりやすくなっている。
算数	算数	学校図書	算数で特に使われる「見方・考え方」をキャラクター化しているため、児童自身も「見方・考え方」を意識することができる。そのため、教科書に示された「見方・考え方」以外を見つけたときには、自分たちで「見方・考え方」を創造することができる。これは本校の教育方針である「子ども側から教育を発想する」に関連づくとも考える。プログラミング学習では全学年にQRコードが掲載されており、簡易なプログラミングの考えに触れ、論理的に他者に自分の考えを伝えることができるようになっている。
理科	理科	大日本図書	「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」という言葉で自然の事物現象に出会う→疑問を持つ→仮説（予想）を立てる→実験観察をする→疑問を解決する・新たな疑問を持つといった理科学習の流れが整っている。この流れは、本校の教育方針である「子ども側から教育を発想する」に近く、また、応用できるものとも考える。
生活	生活	東京書籍	学習指導要領で示された育成を目指す資質・能力が、わかりやすく具体化されている。他教科等との関連や中学年以降への学びにつながるよう、指導・支援の際に参考となる具体的な例示や資料が、随所に掲載されている。幼児との交流を通して、自己の成長を実感できるよう、互恵的、継続的な幼小交流活動が、随所に位置づけられている。
音楽	音楽	教育出版	各教材において、その学習の内容や学習の進め方についてわかりやすくまとめられている。児童の実態にあった教材曲が多く掲載されており、教材曲数も適切で、それぞれの教材にしっかりと取り組むことができる。また音楽づくりも色々な活動が設定されており、興味深く活用しやすい。さらに本校が重点的に取り組んでいる伝統音楽の教材も充実している。
図画	図画	日本文教出版	多種多様な材料を用いて表現活動をする単元が豊富である。また、学習に使用する道具や用具の使い方についての説明が丁寧になされており、子どもたちにとって使いやすい

工 作	工 作		ものとなっている。児童の作品が見本として多く取り上げられており、児童が作品のイメージを膨らませやすい。
家 庭	家 庭	東京書籍	学習指導要領で示された家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」として設定されていることで、どの題材でどの視点を重視するかが一目でわかるようになっている。問題解決的な学習が展開できるように、3つのステップ（課題発見→課題解決・実践活動→評価・改善）の手順が示されている。実践的・体験的に学べるように、実寸台の写真が掲載されており、聞き手に応じた写真など細かな配慮がされている。
保 健	保 健	光文書院	「小学保健」習得、活用だけではなく、話し合い活動などもマーク化されており、子ども達が直感的に活動内容を把握できるように工夫されている。子ども達の自主的な活動を大切にしている本校教育活動においては、児童が直感的に活動を予測できることは重要であると考えている。
外 国 語	英 語	三省堂	自分の気持ちや考えなどを伝え合う言語活動が柱となっていることに加え、各学期に1つの大単元が設定され、学びの見通しをもつ段階、表現を学んだり練習したりしてコミュニケーションを図る段階、実際の場面で表現する段階で構成されている。そのため、児童は繰り返し表現に慣れ親しみ、段階的に力を育むことができる。また、本校児童が使用している ICT 端末から利用できるデジタルコンテンツも充実しており、必要に応じて音声を聞いたり、表現を確認したりすることができる。
道 徳	道 徳	光村図書	学習指導要領の内容項目をとびらになぞらえ、子どもたちにもわかりやすい言葉とイラストで紹介している。巻末に、1時間ごとの振り返りを記録する折込「学びの記録」があり、自分自身の学びをひと目で見渡せ、大きくくりなまとまりで学びを振り返ることができる。